

ともだち



人と人との出会いを大切に
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい とう
高崎市国際交流協会会報第125号

2025.12

◆トピックス(2025年^{ねん}10月～11月)



だい かいこくさいこうりゅう つど ■第33回国際交流の集い

10月12日にイベント高崎で開催され、約1800人の来場者で賑わいました。今年もJOMO JET 主催のインターナショナルカーニバルと同時開催でした。

様々な国の文化が体験できるブース



華やかなステージ



国際色豊かな食べ物



■ハロウィーンパーティー

11月1日、中央公民館で、ハロウィーンパーティーが開催され、8家族25人が、お化けモービル作りやモンスターハンターゲーム、トリック・オア・トリートを楽しみました。

(青少年育成部会)



■Cool Takasaki発信事業～茶道体験～

11月2日、高崎シティギャラリーで行われた合同茶会(主催:高崎市、高崎茶道協会)に、外国人6人が参加し、茶道を体験しました。「所作や季節を感じる部屋の装飾など、全ての事柄の裏に意識が深くあると気づいた」と感想が寄せられました。

(事務局)



■秋の日本語教室

9月1日から12月1日まで秋の日本語教室が開催され、40人の支援者が93人の学習者の学びを手伝いました。
(コミュニケーション支援部会)



■国籍別学習者数(延べ人数)

中国	19	韓国	2	インド	1
フィリピン	17	ロシア	2	シンガポール	1
ベトナム	12	オーストラリア	2	イギリス	1
インドネシア	9	モロッコ	2	アイルランド	1
アメリカ	4	カメルーン	2	ブラジル	1
スリランカ	3	台湾	1	ペルー	1
パキスタン	3	マレーシア	1	ガーナ	1
カナダ	3	ネパール	1		
日本	2	バングラデシュ	1		
合計 25 か国 93 人(対面 88 人、オンライン 5 人)					

■日本語支援者ステップアップ研修

日本語教室で活動する支援者のスキルアップのための研修が表のとおり中央公民館で行われました。今年は日本語が全くわからない学習者の支援方法が中心テーマでした。「実践的で直ぐに教室で使える内容だった」「学習者と丁寧に向き合いたいと思った」などの感想が寄せられました。
(コミュニケーション支援部会)

9月28日	文型の文脈化・個人化	群馬県立女子大学 地域日本語教育センター 准教授 野口美美先生
11月9日	経験と知識の共有 ～支援者・学習者の立場から～	山本かおるさん 新井範子さん 高橋アレックスさん



◆おしらせ(2025年12月～2026年1月)

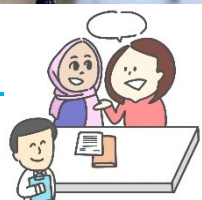
■冬の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループかマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円 ●申込=12月1日(月曜日)～19日(金曜日)の間に協会ホームページから(教室の状況により、お断りする場合があります)

教室名	コース名	時間	期間
中央公民館	火曜日	午前10時～11時30分	1月13日～3月17日
	木曜日	午後7時～8時30分	1月15日～3月19日
	土曜日	午後1時30分～3時	1月17日～3月21日
下中居公民館	水曜日	午後6時30分～8時	1月14日～3月25日
群馬福祉会館	月曜日	午後7時～8時30分	1月19日～3月30日
新町文化ホール	水曜日	午前10時～11時30分	1月14日～3月25日
	土曜日	午前10時～11時30分	1月17日～3月21日

■外国人のための法律相談

●日時=12月7日(日曜日)午前10時～午後3時(予約優先)
●場所=中央公民館(末広町) ●相談員=弁護士、行政書士、社会保険労務士 ●通訳=英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語 ●問い合わせ(予約)=ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター TEL027-289-8275(相談日のみ090-5054-5215)



■多文化サロン ～ネパール～

ネパールの文化について話を聞くイベントを来年度2月に予定しています。詳しくは1月6日(火曜日)以降に協会HPを見てください。



私が初めて日本を訪れたのは2002年のことです。技術系の奨学金を受けられたため、祖父母の故郷である沖縄に来ることになりました。私を歓迎するかのように、ちょうど大きな台風が沖縄を通過したのを思い出します。はじめて経験する台風にびっくりしましたが、その後目にした沖縄の素晴らしさにはさらに驚かされました。信じられないほど美しい海の色、そして親切な沖縄の人々のおかげで、私は自分の家にいるかのように居心地よく感じました。

3ヶ月の滞在中、私はすっかり寛いだ気分でも過ごしたので、ペルーに帰った時にはとても寂しく感じました。それで、もう一度日本に戻ることにし、今回は吉井町に住むことになりました。

ある人たちは、日本人っぽい外見をしている私がなぜスペイン語を話すのか不思議に思っていたようです。その度に、私は自分がペルーから移住した「日系人」だと説明していました。でも、



ヒガさんのプロフィール

はじめまして。ヒガ セシリアと申します。ペルー日系三世です。住んでいる吉井町は小さな街ですが、東京へのアクセスがよく、流行りに敏感な街である高崎にほど近いので気に入っています。

私の周りの地元の人たちは辛抱強く、私に合わせてシンプルな日本語を使ってくれます。こうした方たちのおかげで、これまでずっと居心地よく過ごすことができています。吉井に引っ越してきて20年以上になるなんて、自分でもびっくりです！日系人として、母語が日本語でないのにネイティブのような日本語を話す方たちを尊敬しています。また、生まれ育った国のアイデンティティーを失うことなく日本の文化や習慣を身に付けているのもすごいと思います。私もそうできるように毎日努力中です。文化の融合が持つポテンシャルってとても大きいと思います。いくつかの文化が重なり合う時、足し算ではなく掛け算のように豊かさが生まれます。私の大好きな日系ペルー料理が良い例です。世界で最も美味しい料理の一つと言われているんですよ！

～広報宣伝部会のメンバーが読んで質問しました～

1. おすすめの日系ペルー料理を教えてください

代表的な日系ペルー料理として「プルポ・アル・オリボ(タコのブラックオリーブソース)」が挙げられます。以前ペルーではほとんどタコを食べませんでした。タコが食材として使われるようになったのは日本人が移住するようになってからです。一方、ペルーでは昔からオリーブをよく食べます。特に黒オリーブはパンと一緒にそのまま食べるだけでなく、色々なペルー料理に使われます。1人の日系人女性のシェフが2つの食材を見事に融合させて、この魅力的な一皿を作り出しました。シンプルなレシピなので、色々なバリエーションがあります。紫玉ねぎのスライスと合わせたり、マヨネーズをヨーグルトに変えたりできます。サツマイモとチョコクロ(茹でたジャイアントコーン)を合わせるとさらにペルーらしくなりますし、クラッカーを添えるのもいいですね。

2. 生まれ育った国のアイデンティティーを失うことなく日本の文化や習慣を身に付けていくための努力とはどんなことですか？

33歳の時に日本に来ましたので、ペルー人としての習慣や考え方が身についています。それで、日本の文化や考え方に慣れるのが簡単ではないことは分かっていました。でも、その挑戦を自分が成長するチャンスと捉えるようにしてきました。今でも自分を受け入れてくれた地域社会を理解し、溶け込み、学ぶ努力を続けています。私は日系ペルー人として、日本の価値観で母国の価値観を上書きしたいとは思っていません。むしろ、今も学び続けている日本の文化や考え方の中に、母国からもらった大切な価値観が生き続けることを目指しています。

3. 好きな日本語の言葉を教えてください

「こころ」です。私の個人的な捉え方ですが、この言葉は私たちの心の深いところから湧き上がる前向きな気持ちを表現していると思います。発音も簡単ですし、漢字が書きやすいのに美しいビジュアルであるところも気に入っています。

プルポ・アル・オリボ (タコのブラックオリーブソース)

※量は調節してください

【材料】

茹でて薄切りにしたタコ 適量
マヨネーズ 1カップ
種を除いた黒オリーブ 10粒
刻んだパセリ 適量

【作り方】

オリーブとマヨネーズをミキサーにかけ、薄切りにしたタコの上に掛けます。刻んだパセリを飾って出来上がりです。



Buen provecho!(どうぞ召し上がれ!)



高崎市外国人相談支援センターでスペイン語を担当している島田優介です。高崎に生まれ、高崎で育ちましたが、成人してから南米のパラグアイという国に16年間在住していました。そのおかげでスペイン語を学ぶ機会がありました。

パラグアイは南米のほぼ中央にある内陸の国で、ボリビア・ブラジル・アルゼンチンと国境を接しています。日本の人がパラグアイと聞いて思い浮かべるのは、サッカーかもしれません。ワールドカップで対戦したことがありますし、ゴールキーパーなのにフリーキックを蹴ることで有名だったチラベルト氏も知られています。パラグアイ独自の食文化としては、水出しのマテ茶である「テレレ」や、トウモロコシ粉で作るパンの「チッパ」、全く水分のない「ソパ・パラグアージャ(パラグアイスープ)」という名のトウモロコシケーキなどがあります。

パラグアイは純粋で素直な人が多い一方で、行政組織としては日本と異なる風土があり、比較的簡単な行政手続きであっても予定通り進まないことがよくありました。急に交通警察に止められて「協力金」という名目の賄賂を取られそうになったことが何度もあります。まだ自分の意思を伝えられるほど言語が話せない、もどかしく思ったり、いらいらさせられたりしたものです。そういう時、言語堪能な友人が付き添ってくれていると、本当に安心したのを思い出します。

こうした自分の経験を生かし、高崎にお住まいの外国人の方、特にスペイン語圏の方々が言語の壁によるストレスを感じることなく行政手続きができるようサポートできればと思っています。また、この外国人相談支援センターがあることを知って「高崎が住みやすい街だ」と感じていただければ、高崎出身者として望外の喜びです。

外国人相談支援センター



たかさきし やくしよ がい
高崎市役所2階

TEL 027-321-3100 MAIL fr-support@city.takasaki.gunma.jp

外国語で生活相談ができます【対応言語と相談日】

時間・午前8時30分～午後5時 Hours: 8:30 a.m. - 5:00 p.m.	月曜日 Mon.	火曜日 Tue.	水曜日 Wed.	木曜日 Thu.	金曜日 Fri.
English 英語	●	●	●	●	●
中文 中国語	●			●	
Tiếng Việt ベトナム語					●
ネपाली ネパール語					● 午前8時30分～12時30分
Tagalog タガログ語(フィリピン語)			●		
Português ポルトガル語	●			●	
Español スペイン語		●			

◎ビデオ通話通訳を使って相談もできます。(17言語対応)

行政書士による外国人相談

Consult with a specialist (gyoseishoshi) about immigration matters, etc.

日時：毎週水曜日（祝日・年末年始を除く）、午後1時～5時

内容：在留資格や国際結婚・離婚、永住、帰化、就労、起業など

対応言語：English 英語・Tagalog タガログ語（フィリピン語）

◎その他、ビデオ通話通訳を使って相談もできます（17言語対応）

ラジオ
たかさき
高崎



【放送予定】

- 12月5日 ハロウィーンパーティー
- 12月19日 子ども日本語学習支援
- 1月2日 茶道体験・陶芸体験
- 1月16日 多文化サロン～ネパール～

マイタウン高崎

【放送日時】

第1・3金曜日

午前9時15分～9時25分

再放送

午後12時30分～12時40分

ともだち

発行 高崎市国際交流協会

〒370-8501 高崎市高松町 35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

発行日 令和7年（2025年）12月

会員を募集しています

- 会員期間＝4月1日～翌年3月 ●会費＝個人 2,000円・法人その他の団体 10,000円（10月以降の新規入会は半額）
- 詳しい入会方法は事務局にお問い合わせください